

○タイトル 『千葉観光課 4 加曾利貝塚』

○登場人物

・田宮（20代） 千葉県の外国人向けの観光課に働く青年。受け身な性格でよく物事を頼まれる体質。だが、突飛な閃きを思い付くと意気揚々とする。

・ボブ（30代） 観光課のアドバイザーとして雇われた米国人。明快な性格で何事にも乗り気。田宮と仲良く絡む。「面白ければそれでよし！」を信条にしている。

・その他（外人達）

シーン1…観光課のオフィス

（オフィスの雑音、書類をめくる音）

ナレーター…ここは千葉県の外国人向け観光課。田宮はデスクに座り、資料を見ながら頭を抱えている。

ボブ…（ドアが開く音）タミヤ、元気ないね。

どうしたの？

田宮…ボブさん、実は、加曾利貝塚にもっと観光客を呼び込む案を考えないといけないんです。でも、何も思いつかなくて…。

ボブ…(笑い声)あっと驚くイベントがいいんじゃない？

田宮…(ふと閃いたように)それなら、ホラーアトラクションにしよう！

ボブ…(驚いて)ホラー！？加曾利貝塚で？

田宮…ええ、古代の遺跡ですから、幽霊とか出る感じにして、夜のツアーを開催するんです！

ボブ…(興奮して)いいね、それ！外国人も絶対楽しめるよ！

シーン②…加曾利貝塚

(夜の音、虫の鳴き声、風の音)

ナレーター…夜の加曾利貝塚にホラーアトラクションの準備が整えられ、お化けの衣装を着たスタッフがあちこちにいる。

田宮…(マイクで案内)皆さん、ようこそ加曾利貝塚ホラーツアーへ！古代の魂が眠るこの地で、恐怖の体験をお楽しみください！

(観光客たちのざわめき、興奮した声)

観光客①…うわー！これはすごい！

観光客②…こんな古代の遺跡で、こんなことができるなんて！

(ツアーが進むにつれて、スタッフが次々と

観光客を驚かす。歓声と笑い声)

シーン ☹ ツアー終了後

(観光客たちが帰る音、感嘆の声)

観光客 ☹.. 最高だった！友達にも教えな  
きや！

観光客 ♪..こんなに楽しい旅行は初めてだ！

(田宮とボブが観光客を見送りながら)

ボブ..(笑顔で) 見たかい？大成功だね！

田宮..(ほっとした表情で) はい、これで観光  
客も増えるといいですね。

ボブ..タミヤ、君のアイデアは本当に素晴ら  
しかったよ。「面白ければそれでよし！」って  
ね。

田宮…(照れくさそうに)ありがとうございます  
す、ボブさん。でも、次はもう少し普通の案  
にしたいです…。

ボブ…(笑って)まあ、普通も面白い次第だよ！

(エンドロールと共に、加曾利貝塚のホラー  
アトラクションの成功を示す映像が流れる音)

フィナーレ

(観光課のオフィスの雑音)

ナレーター…観光課のオフィスで、田宮とボ  
ブが次のプロジェクトについて話し合ってい  
る。

田宮…次は何にしましょうかね、ボブさん。

ボブ…(ウインクして)それは秘密さ。でも、

次もきっと面白いことになるよ！

田宮…(笑顔で)そうですね。楽しみにしています！

(画面がフェードアウトし、エンドクレジットが流れる音)

終わり